

感性光る風景写真25点

作品を楽しく解説する杉本恭子さん。ギャラリー「亜鳥絵」で



豊橋で杉本さん作品展、トークも

気鋭のフォトクラフター・杉本恭子さん。神奈川県川崎市での写真展「彩り季節風」が

20日、豊橋市東雲町のギャラリー「亜鳥絵」で始まった。独得な感性で撮った、心が癒やされる風景写真作品25点が並ぶ。初日は杉本さんのトークもあり、当地の写真愛好家らに、撮影の技術や心のアドバイスを送った。

杉本さんは、日本を代表する風景写真家・竹内敏信氏に師事。04年からプロの風景写真家として活躍。「私の写真入門」「一眼レフカメラ基本撮影テクニ

ック」など著書多数で、写真教室や撮影会の講師に引っぱりだこ。

今回、豊橋の写真愛好家・大原玉市さんが、「ぜひ豊橋でも杉本さんの展覧会を」と切望。同ギャラリー

主宰・田中ヒロフミさんが友人・竹内氏に頼み、リフレッシュオーブン記念展として実現した。プロの女性写真家は当地で始めて。展示は杉本さんの写真集「彩り季節風」出会いとときめきの作品。茶臼山で凍てつく「藍の滝」や、山形県酒田市の「新緑に落つ」など滝や、長野県阿智村

の満開の桜「光溢（あふ）れて」、香風溪の紅葉「淡紅」など、四季折々の風景を、独得な感性で捉えた、感動的で美しい作品ばかり。

杉本さんは、シャッター速度や絞り、露出補正などテクニックのほか、「撮影する時は、必ず風を感じて、リズム感や物語性も」「写真は写心。感動や感情を込めてシャッターを押して」など、写す心のアドバイスを送った。

同展は30日まで（26日は休廊）。

（杉浦文夫）